中核市サミット 旭川宣言 ２０２６

中核市市長会設立 30 周年という記念すべき節目に開催された本サミットでは、今日までの歴史を築いてこられた先人の皆様に深く敬意と感謝を表するとともに、「30 年の歴史に感謝 ～中核市の新たな挑戦“62 CITY PRIDE”～」をテーマに、中核市が目指すべき将来像と、その果たすべき役割について議論を深めました。

私たち中核市 62 市は、これまで地域の中核都市として、地方分権の推進と地域社会の発展に重要な役割を果たしてきました。

しかし、今、我が国は少子高齢化や人口減少をはじめ、社会経済情勢の大きな変化に直面しています。こうした時代だからこそ、私たち中核市には、自らのまちの発展にとどまらず、各圏域を力強く牽引し、持続可能で活力と魅力にあふれる地域社会を築いていく使命があります。

その使命を果たすためには、中核市の発展こそが地域の活力を生み、日本の未来を切り拓く原動力となるという強い気概を持たなければなりません。

私たちは、62 市の連携と結束を一層強め、前例にとらわれず、失敗を恐れず、新たな発想と行動力をもって、市民とともに果敢に挑戦を続けてまいります。

さらに、62 市が一丸となって国に働きかけ、地方分権を一層推進するとともに、地域が自らの力で未来を創り出す、新たな時代を築いてまいります。

中核市市長会 30 年の歴史と絆を礎に、屯田兵の開拓の精神「フロンティアスピリッツ」が息づくここ旭川から私たち中核市 62 市は、志を一つに変化を恐れず挑戦を重ね、地域及び我が国の新たな未来を切り拓いていくことを、ここに宣言致します。

令和 8 年 10 月 29 日

中核市市長一同